

一 般 教 育 訓 練 明 示 書

講座の名称	介護職員初任者研修(2ヶ月コース)																
実施方法	① 通学 (昼間 ・ 夜間 ・ 土日) ② 通信 スクーリング(回数 16 回)																
指定講座番号	1	3	2	0	0	1	9	—	2	3	1	0	0	1	2	—	0
講座の創設年月日	一般教育訓練給付金対象講座の指定期間					過去一年の講座実績		修了者数 (1,749人)									
平成25年4月1日	令和8年3月31日まで																
訓練期間	2ヶ月					総訓練時間					131時間						
1. 教育訓練目標																	
①取得目標とする資格の名称、目標レベル								介護職員初任者研修課程									
②①に係る資格・試験等の実施機関名称								厚生労働省									
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等								カリキュラムに定める、すべての添削課題の合格ラインへの到達、スクーリング全日程の出席、実習全日程の出席、知識と技術の評価テスト(実技チェック試験・一問一答式筆記試験)の合格、修了試験(5肢択一方式・正誤方式・選択方式)の合格、および受講料等が完納されている者を修了者と認める。 合格=70点以上 不合格=69点以下									
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況								介護職 介護業界、医療業界 習得した知識を活かし訪問介護事業所、施設など介護スタッフと活躍できる。									
2. 教育訓練の内容																	
教科 (カリキュラム)										時間			使用教材名				
別紙参照													学習ガイドブック テキスト1～5 スクーリングノート レポート問題 (実習ノート)				
3. 受講者となるための要件(この講座を受講するために必要とされている条件など)																	
①受講するに当たって必要な実務経験等								特になし									
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準								演習を含む全ての課程を自分ひとりの力で受講・遂行することが可能な方									
③その他								特になし									

一 般 教 育 訓 練 明 示 書

4. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法	
1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	カリキュラムの進行に応じて確認テストを行い習得度を確認している。
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数	スクーリング場所:教室 時期:毎月 期間:2ヶ月 回数:16回 都道府県により内容は異なります。
5. 修了を認定するための基準並びに修了を認定する時期及びその方法	
全スクーリングを出席、確認テスト、修了試験の合格をもって修了認定とする。 ※都道府県により内容変更あり	
6. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法	
(1)受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	学習項目毎の課題添削により理解度を把握し個別にアドバイスを行う。
(2)受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例:資格取得関連情報や資格関連職種の求人情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	質問用紙による学習の質問に対して専門講師が個別に解答を行う。 就業相談を全国各支店で設定し就業のバックアップを行う
指定教育訓練実施者名 及び代表者名	株式会社 ニチイ学館 代表者名:代表取締役 森 信介
住所及び連絡先	東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地 TEL 03-5834-5100
施設名称及び施設長名	株式会社 ニチイ学館 代表者名:代表取締役 森 信介
住所及び連絡先	東京都千代田区神田駿河台四丁目6番地 TEL 03-5834-5155
給付制度担当部署・者	人財開発事業本部 教育指導部 管理課
連絡先	TEL 03-5834-5155 (受付時間:祝日を除く月～金 9:00～17:15)
一般教育訓練経費 支払い方法 ① 一括払 ② 分割払 ③ 両方可能	1. 一般教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②) 88,000 円
	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。) 0 円
	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。) 88,000 円
	(うち、必須教材費 17,612 円)
	2. 一般教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④) 3,055円
	① 副読本代(税込額) 0 円
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額) 0 円
	③ 施設維持費(税込額) 0 円
	④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額) 3,055 円
	3. 総額 (1+2) (税込額) 91,055 円

[特 記 事 項]

--

介護職員初任者研修 ニチイ カリキュラム

単位:時間

科目		通信	対面	合計	
1. 職務の理解	(1)多様なサービスの理解	0	6	6	
	(2)介護職の仕事内容や働く現場の理解				
2. 介護における尊厳の保持・自立支援	(1)人権と尊厳を支える介護	7.5	1.5	9	
	(2)自立に向けた介護				
3. 介護の基本	(1)介護職の役割、専門性と多職種との連携	3	3	6	
	(2)介護における安全の確保とリスクマネジメント				
	(3)介護職員の安全				
4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	(2)医療との連携とリハビリテーション	3	1.5	9	
	(1)介護保険制度	4.5			
	(3)障害者総合支援法及びその他の制度				
5. 介護におけるコミュニケーション技術	(1)介護におけるコミュニケーション	3	3	6	
	(2)介護におけるチームのコミュニケーション				
6. 老化の理解 I	(2)高齢者と健康	1.5	1.5	6	
老化の理解 II	(1)老化に伴うこころとからだの変化と日常	1.5	1.5		
7. 認知症の理解 I	(2)医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	0	2.5	6	
認知症の理解 II	(1)認知症を取り巻く状況		1		
	(3)認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活		1.5		
	(4)家族への支援		1		
8. 障害の理解 I	(1)障害の基礎的理解	0	2	3	
障害の理解 II	(2)障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかり支援等の基礎的知識				
	(3)家族の心理、かかり支援の理解				1
9. こころとからだのしくみと生活支援技術	基本知識の学習	(1)介護の基本的な考え方	12	63	75
		(2)介護に関するこころのしくみの基礎的理解			
		(3)介護に関するからだのしくみの基礎的理解			
	生活支援技術の講義・演習	(4)生活と家事			
		(5)快適な居住環境整備と介護			
		(6)整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護			
		(7)移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護			
		(8)食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護			
		(9)入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護			
		(10)排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護			
		(11)睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護			
		(12)死にゆく人に関したこころとからだのしくみと終末期介護			
		生活支援技術演習			
	(14)総合生活支援技術演習				
10. 振り返り	(1)振り返り	0	4	4	
	(2)就業への備えと研修修了後における継続的な研修				
合計		36	94	130	
修了試験		/	1	1	
全合計		36	95	131	